

2012年1月31日

18年目を迎える「アフラックのバレンタイン献血」 ～アフラックとアソシエイツ（当社販売代理店）が全国各地で展開～

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：外池 徹）は、毎年2月を「バレンタイン献血月間」として、当社販売代理店組織である「アフラック全国アソシエイツ会（ ）」と共同で、全国各地にて献血ボランティア活動を行っています。
本活動をスタートして18年目を迎える今年も、以下の通り、東京・大阪を中心に全国で実施します。

【アフラックのバレンタイン献血】

（１）東京

2月 7日（火）

新宿三井ビル （9：30～16：00）

2月 14日（火）・15日（水）

調布アフラックスクエア （10：00～16：00） 15日は15：30終了

（２）大阪

2月 14日（火）

淀屋橋センタービル （10：00～16：00）

（３）その他

全国各地のアソシエイツ会にて適宜開催

「アフラックのバレンタイン献血」は、1995年の阪神淡路大震災への支援活動としてスタートしたボランティア活動です。

2月は、風邪やインフルエンザの流行で全国的に献血者が激減するため、年間で最も血液が不足する時期であることから、アフラックでは「特定の人だけではなく、多くの人に“愛”を贈ろう」との思いを込めて、この活動に継続的に取り組んでいます。

その結果、アフラックの毎年恒例のボランティア活動として社員やアソシエイツにまで広く定着し、昨年は2,000人を超えるアフラック関係者が参加しました。



▲献血会場の様子（2011年）

日本赤十字社によると、2011年3月に発生した東日本大震災においても血液が不足する事態が発生し、献血による血液が役立てられました。

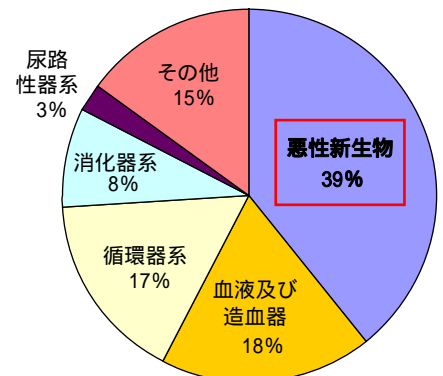
また、日本赤十字社に集められた輸血用血液の約4割は「がん（悪性新生物）」の治療に使われている（右グラフ参照）ことから、がん保険のリーディングカンパニーとしてがんと闘う方々を応援する当社ならではの取り組みとして、今後もこの献血ボランティア活動を継続していきます。

アフラック全国アソシエイツ会

1989年11月、アソシエイツ（当社販売代理店）の社会的・経済的使命の実現と経営の質的向上を図り、広く社会の保健・福祉に貢献することを目的に設立された組織で、全国11,401店の会員で構成されています（2011年12月末時点）。

< 疾病別輸血状況 >

（2010年度 東京都福祉保健局）



出典：日本赤十字社